

令和7年第1回
久御山町教育委員会定例会
議事録

令和7年 第1回久御山町教育委員会定例会 議事録

- 1 招集年月日 令和7年1月27日
- 2 招集の場所 久御山町役場庁舎2階会議室23
- 3 開 会 令和7年1月27日 午前10時00分開会宣告
- 4 出席委員 内 田 智 子
寺 井 恵太郎
豊 田 美 幸
阿 部 拓 児
田 口 賀 彦
- 5 職務のため出席した者の職氏名
教 育 次 長 中 務 一 弘
学校教育課長 前 山 雅 宏
生涯学習応援課長 星 野 佳 史
学校教育課長補佐 高 月 大 和
子育て支援課長 佐 野 美 奈
書 記 西 村 優 奈
- 6 付議案件
議案第1号 令和6年度久御山町一般会計補正予算（第6号）について
- 7 報告事項
 - (1) 一般質問（12月議会）について
 - (2) 令和6年度卒業・修了式及び令和7年度入学・入園式の日程について
 - (3) 令和7年度こども園の入園募集結果について
 - (4) こども計画（案）について
 - (5) 教育に関する事務の点検及び評価について
 - (6) 仲よし学級の今後の運営方針について
 - (7) 町制施行70周年記念第35回くみやまマラソン申し込み状況について
- 8 会議の経過
午前10時00分 開会

○内田教育長 ただいまから令和7年第1回教育委員会定例会を開催いたします。本日の議事録署名委員は田口委員でございます。第9回定例会議事録につきましては、先日

配布し御覧いただけたかと存じます。第9回定例会議事録について、よろしければ承認
いただきたいと存じます。よろしいですか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 ありがとうございます。第1回定例会議事録については承認されました。
次に報告についてでございます。1月7日に、小中学校におきまして、3学期の始業式
が行われまして、インフルエンザの罹患状況も落ち着いているという状況で、円滑に学
校生活が行われているところでございます。委員の皆様方には、1月13日の二十歳の
つどいに御臨席いただきましてありがとうございます。該当者123名の参加がござい
ましたことを御報告いたします。また、1月16日に、第2回の旧山田家住宅活用保存計
画策定委員会が開催され、次年度策定予定の活用保存計画についての基本方針や、スケ
ジュールについて協議がなされました。続きまして、1月18日に、町の青少年育成協
議会主催の青少年主張発表会が行われまして、小学生、中学生、高校生12名が自らの
思いを堂々と主張されました。特に、昨年度より進んだなと思ったのは、皆さんタブレ
ットであったり、インターネットでその理由であったり、深い根拠を探りながら、それ
を基に発表されていたということが印象的でした。それから、東角小学校では、児童会
を中心に町制施行70周年のお祝いに、ドリームカプセルプロジェクトを企画されまし
て、30年後の自分や久御山町に向けてのメッセージをタイムカプセルに埋め込まれて、
町制施行100周年の時に開封されるということで、夢のある取組をしていただいております。
それから、2月11日開催予定のくみやまマラソンにつきましては、後ほど詳細
について担当から説明させていただきますけれども、500人を上回るエントリーがござ
いましたので、御報告をさせていただきます。当日は安全に実施できますように、実行
委員会を中心に準備を進めている状況でございます。最後に、御報告が遅れましたけれ
ども、11月14日に、御牧小学校の津田直毅教諭が、京都府公立学校優秀教職員として
表彰されました。以上報告とさせていただきます。それでは、議事の方に移らせていた
だきます。議案第1号令和6年度久御山町一般会計補正予算（第6号）について事務局よ
り説明を求めます。学校教育課からお願いいたします。

○高月学校教育課長補佐 失礼いたします。学校教育課分の説明をさせていただきます。
今回、全て給与改定に伴う補正予算となっております。27ページをお開き下さい。27ペ
ージのこども園の方になりますけれども、職員人件費の方で時間外勤務手当で32万1千
円と、こども園運営事業で4千446万円の増額となっております。ページをめくりまし
て、41ページになります。こちらは、教育委員会の事務局費となっておりますけれども、
こちらの方の職員人件費の時間外勤務手当で11万7千円。その下の国際理解教育推進事
業で65万9千円。その下の教育相談事業で50万2千円。その下、教育委員会事務局運
営事務で99万5千円。ページをめくりまして、43ページです。小学校特別支援教育補助
員配置事業で96万9千円。小学校給食運営事業で47万8千円。小学校図書館事業で75

万8千円。その下、中学校費になります。中学校特別支援教育補助員配置事業で20万2千円。中学校給食運営事業で31万2千円。今回ですけれども、職員と会計年度任用職員の一般と補助の方全て給与改定ということで、増額となっております。以上説明とさせていただきます。

○内田教育長 説明が終わりました。質問はございませんでしょうか？ないようですので、生涯学習応援課お願いいたします。

○星野生涯学習応援課長 失礼いたします。ただいま説明がありました学校教育課と同じ理由でございます。給与改定に基づきます増額分の補正となっております。45ページになります。社会教育総務費の時間外勤務手当で5万6千円の増額。その下、社会教育総務一般事務費で53万3千円の増額。それから、図書館費の時間外勤務手当で1万6千円の増額。図書館運営事業で20万3千円の増額。また、保健体育費の方の時間外勤務手当で5万円の増額となっております。以上説明とさせていただきます。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑はございませんでしょうか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 ないようですので、議案第1号を採決いたします。御意義はございませんでしょうか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 ないようですので、議案第1号については可決いたしました。本日の議案は以上でございます。続きまして報告案件に移ります。(1)一般質問(12月議会)について事務局より報告をお願いします。

○前山学校教育課長 はい。失礼します。12月議会一般質問について報告をさせていただきます。一般質問は、12月の11日、12日の2日間。14名中7名の議員が登壇され、うち教育委員会関係では5名の方が質問をされました。まず芦田議員です。スポーツ協会の事務執行について質問がありました。これまでから何度も質問されていることをなぞられたものとなっております。説明については、資料にあるため割愛させていただきます。続きまして3ページです。辻議員です。平和・歴史教育のための展示施設についてでございます。久御山町にかつてありました、京都飛行場については、広報くみやまや、小学校3、4年生で使用している社会科の副読本に掲載したりと、様々な年代に機会を捉えて紹介をしているところでございます。また、語り部の方に対しましては、かつては平和記念集会の方で自らの戦争体験について御講演をいただきました。また、戦没者追悼式でビデオ出演いただいたこともあり、その動画については、学校や図書館で共有できないかということを検討する旨答弁をしているところです。あわせて、歩くまち関連イベントであったり、ふるさと教室、ジュニアふるさと教室等の場を活用して、中央公園の記念碑を巡るなど、久御山の歴史について学ぶ場を増やしてまいりたいというところでございます。戦争に関わる備品などにつきましては、現在、町で保管する設

備等が無いことからお預かりはしておりません。専門の博物館等に紹介させていただくなどしているところでございます。歴史資料館の設置、それからまちづくりセンター、グランハット等で常設の展示というのは難しいということではありますが、今後どのような企画展示ができるかということは、協議していく旨答弁をいたしました。次に濱口議員です。保育人材定着のための補助金の導入についてということでございます。待機児童の状況につきましては、国基準の待機児童は発生しておりませんが、希望するこども園の空きがなくて、入園していない児童というのは12月1日時点で5名おられます。0歳児クラスは保育士の配置基準が高く、施設設備の関係で受入人数も限られることから、待機児童が発生する可能性が高くなっているところでございます。職員の状況ですが、担任、副担任は保育教諭ということでしておりますし、年間を通じて保育教諭が不足しているというようなことは無いものの、年度途中では、例えば一対一の対応が必要な児童が入園されたり、複数の職員が産休を取得されたり。また、復帰を見込んでいた職員が育休を延長されたりということで、一時的に配置ができなかったケースはございました。濱口議員としましては、民間施設に勤務されている介護職の方の離職の大きな原因の1つとして、低賃金が上げられていることから、保育士に対しても同様に、保育人材定着支援事業補助金というものを創設して、保育人材の確保定着をする必要があるのではないかとこの質問でございましたが、そもそもこども園の職員は町が直接雇用しているということでございますので、補助金制度というもの自体が、今回適正ではないかなということでございます。また職員の給与につきましては、毎年の昇給や、期末勤勉手当のある中で、離職の大きな原因は給与面だけではないというふうに考えております。今後も、保育教育アドバイザー等を活用しながら、やりがいのある、より働きやすい職場となるように努めてまいりますということで答弁させていただきました。次に岩田議員です。GIGA スクール構想で整備された端末更新についての質問がございました。議員の方からは、第2期 GIGA スクール構想で更新する端末の今後の見通し。それから、現在使用している端末の処分についての質問でございました。現在、まず国からの補助を受けるために端末整備更新計画、ネットワーク整備計画、公務 DX 計画、利活用計画の4つの計画を教育委員会としては立てております。今後、その計画をもとに、どのように必要台数を更新していくのか。それから、情報量が増えたときにどう対応していくのか。授業で使用するにあたり、指導者のスキルアップ、効果的な指導方法について、どう進めるのかということについて現在検討している状況でございます。配備にあたりましては、児童生徒数プラス児童生徒数の15%の予備機を合わせて、約1000台程度を令和8年度から使用できるように進めている旨答弁しています。その際に、次の第2期のGIGA スクール構想で使う端末を買い取りにするのか、リースにするのかというところは、今検討しているところでございます。現端末につきましては、基本的に業者の方が買い取りをしてくれます。再度市場で活用されるというふうに聞いております。その

ため、教育委員会で端末のデータ消去の方を、管理端末でも確認するなど、二重チェックの方を行ってまいりますし、業者の方からもデータが消去されていることを証明する書類を提出させるなど、二重三重に確認を行ってまいりたいというふうに考えております。次期端末につきましては、現在と同様に iPad を使用するということとしております。今後、通信データ量が増加することを考え、通信調査の方も継続的に行ってまいりたいというふうに思っています。あわせて、これからデジタル教科書であったり、授業でのアプリの活用など、事業の利活用の方が進むというふうに考えております。指導や学習を効率的に行えるよう、教員研修等についても、久御山学園研究会を軸に進めてまいりますということで答弁をいたしております。最後 5 ページ目です。異議員の方から、大阪・関西万博に関連する取組についてということで質問がございました。異議員の方からは大きく 2 点。1 点目は学校行事として取り組むということで、学校職員の総意で行われるものであるのかということ。それから 2 点目は、万博会場でメタンガスによる爆発があったということで、それに対する心配。それから体調不良者について。それから迷子になった場合などの児童生徒の安心安全対策についての質問でございました。1 点目につきましては、各校とも職員会議等で説明の上、各校希望されたものであるということで、職員総意であるということでございます。また、2 点目につきましては、まずは万博協会等が、誰もが安心して訪れることができる環境を整えてもらうことが一番であるというふうに考えておりますが、いずれにせよ、教育活動を行う上では、児童生徒の安心安全は最も重要なことであるということですので、下見等をする中で、対策等を具体的に検討していきますということで答弁させていただいております。以上で報告の方を終わります。

○内田教育長 説明が終わりました。御質問はございませんでしょうか？

○寺井委員 いいですか？

○内田教育長 はい。

○寺井委員 保育士の給料は他の市町と合わせることなく、僕は上げていくべきだと思います。給料を上げることによって、教員さんの給料とかも連動させないとだめなのかな？

○前山学校教育課長 保育士は町職員ですので、職員とも整合性を合わせながらやっているところです。ですから、そこをどうするかというところの課題は出てくるかと思えます。

○寺井委員 人材確保を思ったら、やっぱり大変重要な問題だと僕は思います。久御山町は低いんですか？

○前山学校教育課長 久御山が低いということではないですね。

○寺井委員 全体的にね。保育士とか介護士とか大変な仕事、看護師さんとか。

○内田教育長 責任が重いということが大きくて、やはり職員さんの中には正職員ではなくて、補助であったり、会計年度も、さきほどのことと言えば、給料は上がってますので、責任は少なくお仕事がしたいというような方が増えてきています。当然、最低の責任はあるわけですがけれども、それ以上に、いろんな業務での責任であるとか、そのあたりの問題があります。

○寺井委員 話が脱線してしまうかもしれないんですけど、僕ら建築業界もね。この前いろんな話があって、よくテレビで失われた30年という話が出てますよね。僕あの意味がよく分からなくて、よう考えたらね。僕の業界でも30年前と今の職人さんの手間ってほとんど変わってないんですよ。仮に30年前にこの人の給料が1万6千円やったとしたら、今も1万6千円なんです。これはやっぱりあかんよっていう話が大々的にありまして、僕も一応会社を経営しているんで、やっぱりこれはまずい話だなということで、そう思ったらやっぱり今の日本の構造自体が安いんでしょうね。思い切って久御山町に先走ってもらったりとか。僕、この間オンラインをさせてもらったときもですね。学校運営委員会ってというのが、久御山町は他の市町に比べて、ものすごい先に行っているんですよ。やっぱり僕は、いろんな問題も出てくるけども、やっぱり苦難に立ち向かうじゃないけれども、給料の面でもね。やっぱり思い切って改革して行ってほしいなと僕は思うんですよ。他の市町がこうしたから、久御山町がそれに追従するってことじゃなくて、いろんな面で先に行ってもらえたら良いなと思います。今度、総合教育会議の時にこのような話もさせていただきたいと思います。町長と直接話せる機会なので、僕は思ってることは言っていくべきだと思います。できるだけのことをちょっと考えてみてください。

○内田教育長 はい。ありがとうございます。他にございませんでしょうか？

○阿部委員 すみません、2番目の飛行場の問題ですけど、これは小学生には一応教えているということですか？

○前山学校教育課長 そうですね。

○阿部委員 久御山町に、戦時中に飛行工場があったという話は、結構知られていないので、京都の歴史館のところのQ&Aみたいなやつにも、久御山町には工場があったというのは本当ですか？みたいなQがあって、それに対してこういう資料があってとかいって、写真とか載ってるんです。例えば大きな看板を作って、そういうのを積極的に発信していくっていうのは、平和教育だけじゃなくて、すごく大切なことではないかなと思います。今残っているのは、基本的に石碑と、変な区割り。地図を見ると分かりますけど、あの区割りぐらいしか残ってないので、そのことをもっと積極的に打ち出していったらどうかと。実際いるんですよ、戦争遺構マニアって。各地の戦争にまつわるものが今どうなっているとか、ブログとかでも取り上げられていて、飛行場の周りを歩いてみるみたいな。別にそういうふうにしるしにやる必要はないですけど、もっと積

極的にアピールする必要はあるんじゃないかなと思います。あともう1つGIGAスクール構想。うちの子がタブレットを使っているんですけど、何時までしかネットに繋がらないみたいなロックがかかっている、結構、宿題やろうかみたいな時にロックがかかっている、使えないから貸してくれみたいなこと言っていて。重たいものを持ち帰って、何時までしか使えないっていうのが分かっているから、極論を言えばうちの子が悪いです。もっと早くに宿題をやれという話ですけど、ちょっと設定が微妙だなと思って。結局いつも親のタブレットを使っているから、気持ちは分かりますけど、ちょっと早すぎるかなと。何時でしたっけ？7時ぐらいじゃなかったかな？

○内田教育長 8時だと思います。中学生が10時ですかね。

○阿部委員 8時に晩ご飯食べ終わって、やろうかというときにロックがかかっている、もう1時間延ばしていただきたいなど。

○前山学校教育課長 そこについてもまた検討させていただきます。

○内田教育長 夜に部屋でというのが一番まだ難しくて。

○阿部委員 親が1時間ロックを外せるようなね。

○内田教育長 議論の中では、朝の5時から7時までっていうかね。朝は解除しようとかいう話は出ているんですけど。

○阿部委員 結局ロックがかかっていたら、親のスマホになってしまうんですよ。そうするぐらいならっていう、それでロックがかかったから宿題はしませんという選択肢も許されない訳ですし。

○豊田委員 広く事前にね。何時にロックがかかりますっていうことをね。久御山も前ありましたよね。久御山の子どもたちの望ましい日々の過ごし方みたいなね。紙を挟むやついっぱいもらいましたけど、ああいう感じでロックもかかりますっていうことを周知して、親があと30分でロックかかるし宿題せなあかんのちゃうのっていう、それが理想は理想ですよ。教育委員会としてどんどん1時間ずらしていくっていうのは、どこに線を引いていいか分からなくなるんじゃないのかな。朝、解除するのは現実的かなと思います。早起きしてやりましょうということで。お父さんのタブレットは使わせないよ、朝早起きしてやりなさいと、これを言えばいい。

○寺井委員 話が変わるんですけどね。飛行場の話をね。僕らよく聞いていたんです。B29が来て、その部品を拾いに行ったとか。日産があるのもそうやし。だからそういう話をするんやったら、うちの親父ぐらいの90歳前後の人が、まだしっかりお話できるのは今しかないと思います。やっぱり久御山町は結構そういう90歳ぐらいの人で、まだまだ話できる人は結構いますから。やっぱそういう人から生の声の情報っていうのを入れてもらうことが一番大事だと思います。

○星野生涯学習応援課長 そうですね。以前に平和の集いで喋ってもらった方も今96歳やったかな。やっぱりしっかりしてはるんですよ。やっぱり年をだいぶ重ねてこら

れて、いつっていうことでもありますので、遺族会の方でもビデオで当時のやり取りする
ようなものをまとめられて、流されたっていう経過があって、その資料もそのお話も結
構貴重な証言の一つなので、それをFM宇治さんが編集とかされていたので、データは
いただいているんです。それもちょっと容易に検索して見れるような形にするのも一つ
なのかなと思っています。

○寺井委員 やっぱこれは大事かもしれませんね。

○豊田委員 平和教育だけではなく、山田家住宅のことを前に話し合ったときにも、阿
部委員さんおっしゃったんですけど、やっぱりストーリーというかね。その物語の中に
それがあるっていう位置付けで、自分たちの今までをたどれるような物語として提供し
ないと、どこか遠くの昔の関係ない古い建物だっというのでは全然魅力がないので、や
っぱりたどれるような物語を作るってというのが、結局同じことで、山田家住宅だけじゃ
なくて、この久御山町全体にいろんな歴史や物語があって、そこに繋がってきている自
分たちなんだということを実感しようと思うと、やっぱり山田家住宅だけでは弱い。

○中務教育次長 来年度がね。ちょうど終戦80周年になるんです。例年でしたら平和
祈念式典をやるんですけども、それ以外に、今おっしゃっていただいたみたいだね。そ
ういう経験をされた方からの話を聞こうかなというようなことで、今考えているんです。
それはやっぱり後世に残していかなあかんので、そのへんは生涯学習応援課と総務課と
一緒になって、そのようなことは考えています。来年にね。

○星野生涯学習応援課長 何か繋がりという意味では、事業のやり方もあると思うん
ですけど、歩くまちとかね。まちを歩く中で、都市下水路のあたりだとか、こういう区画
になってますとかいうところで、今もこういうのが残っているんだなど。それは何だど
いうと、それは飛行機の飛行場の後ですよ。そういうことをすると子どもにも分かり
やすいと思うので、そういう機会を増やしていきたいと思います。

○内田教育長 他はよろしいですか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 それでは続きまして、令和6年度卒業・修了式及び令和7年度入学・入
園式の日程について事務局より報告願います。

○前山学校教育課長 はい。資料No.3を御覧ください。卒業・修了式ですが、こども
園の方は3月7日の10時開式となります。小学校ですが、3月19日水曜日の9時半開
式です。中学校は3月14日金曜日の9時半開式でございます。あわせて入学・入園式
ですが、こども園の方は4月4日の金曜日9時半開式。小学校は4月8日の火曜日9時
半開式。中学校は4月9日の水曜日9時半開式ということでございます。また、それぞ
れで出席の方お世話になりたいと思います。よろしく申し上げます。今決められたらと
思いますがよろしいですか？

○委員全員 はい。

○前山学校教育課長 久御山中学校の方は全委員さんでお世話になります。まず、みまきこども園から行きたいと思います。去年は田口委員にお世話になりました。一昨年は豊田委員にお世話になりました。どういたしましょう？

○前山学校教育課長 そしたらみまきは阿部委員でいいですか？

○阿部委員 はい。

○前山学校教育課長 さやまが去年は寺井委員と豊田委員。その前は田口委員となっています。

○豊田委員 私はどこでも良いですよ。

○寺井委員 そちらで決めてもらったらいいですよ。

○前山学校教育課長 そうしましたら、1個ずつずらしていきます。阿部委員はさやまこども園でお願いします。寺井委員もさやまでお願いします。豊田委員は、みまきこども園でお願いします。とうずみこども園に田口委員お願いします。小学校はどこか行きたいところはありますか？

○阿部委員 行きたいところとかではないんですけど、この日の13時半から、うちの大学で用があるので、その関係で東角だったらそのまま自転車で駅に行けて間に合うので、すみませんが東角でお願いします。

○前山学教教育課長 分かりました。阿部委員は東角小学校でお願いします。

○内田教育長 今西校長が役職定年で最後になります。

○阿部委員 佐山ですか？

○内田教育長 はい。

○寺井委員 僕、佐山に行きます。

○田口委員 それでは僕も佐山でお願いします。見守りに行きます。

○前山学校教育課長 それでは豊田委員は御牧でお願いします。

○豊田委員 はい。

○内田教育長 ちなみに私は東角小学校の方に行かせていただきます。お願いします。

○前山学校教育課長 入学・入園式ですが。

○豊田委員 ちょっと確認だけいいですか？こども園の卒業式は10時から始まるんですね。

○前山学校教育課長 はい。

○豊田委員 こども園の入園式は9時半で大丈夫ですか？

○前山学校教育課長 はい。

○豊田委員 そこだけは早いんですね。自分が間違えそうだから、ちょっと確認しておきたくて。

○前山学校教育課長 そうしましたら、こども園の入園式は4月4日ですが、田口委員はみまきこども園でよろしいですか？

- 田口委員 はい。
- 前山学校教育課長 さやまこども園には寺井委員と豊田委員でよろしいですか？
- 寺井委員・豊田委員 はい。
- 前山学校教育課長 とうずみこども園は阿部委員でよろしいですか？
- 阿部委員 はい。
- 前山学校教育課長 入学式はどこか行きたいところがありますか？
- 阿部委員 入学式なんですけど、またわがままで申し訳ないんですけど、4月8日って僕、多分授業が始まっていて、ただ来年の時間割全然覚えていないので、誰かとペアにさせていただけますか？ちょっと抜けるかもしれないので。どこでもいいですが、ちょっとペアにだけしていただければ。
- 前山学校教育課長 そうでしたら、田口委員は御牧小学校で、佐山小学校に寺井委員と阿部委員、東角小学校に豊田委員でよろしいですか？
- 委員全員 はい。
- 内田教育長 そうでしたら、次に令和7年度こども園の入園募集結果について事務局より報告願います。
- 佐野子育て支援課長 それではこども園の入園募集結果について報告いたします。2次募集の方が11月7日から11月22日までしてまして、今2次募集に入っているところです。継続入園の意向確認も加えて、1月17日現在の人数ということになっています。2次募集が、1月24日までで、2次募集は終わっているんですけども、集計は1月17日時点でさせていただいております。3次募集がまた3月10日まで受付をするんですけど、今の時点でみまきこども園が合計で80人。さやまこども園が155人。とうずみこども園が139人で、3園の合計が374人ということで、本年度は前年度と比べて現時点では9人減少しているところです。これについては以上になります。
- 内田教育長 はい。そうでしたら、引き続き久御山町こども計画（案）について報告願います。
- 佐野子育て支援課長 引き続き失礼します。こども計画（案）について、以前に中途半端な状態で見ただいたんですけど、今回（案）ということで、とりまとめが終わりましたので、明日の常任委員会の方で説明をさせていただいて、1ヶ月ほどパブリックコメントをする予定としております。簡単になりますけれども、説明をさせていただきます。まず4ページになります。4ページにこども計画の概要というのがあります。計画の位置付けですけれども、こども計画というのが、こども基本法に基づく「市町村こども計画」として、こども施策を全体的かつ統一的に推進するための計画になります。こちらの計画の方の、下の黒い四角に書いてあるんですけど、「子ども・子育て支援事業計画」と、「久御山町こどもの貧困の解消に向けた対策についての計画」と、「久御山町子ども・若者計画」と、「次世代育成支援対策市町村行動計画」。それぞれいろんな法

律で定める努力義務があるような法律になるんですけど、それを含めた形の計画ということになります。隣の5ページの方に、2番で計画の対象ということで書いてありまして、今回特に変わったところとしては、今回の計画のこどもの対象年齢が、こども基本法の定義に基づいて、心身の発達過程にある者。これがおおむね39歳とされているんですけど、そのあたりの方たちまで対象ということになっております。そこでちょっと広がったというのが、今回の計画で一番変わったところかなと思います。続いて、データやニーズ調査の結果、生活実態調査の結果等があるんですけど、52ページのところでまとめさせていただいておりますので、そちらの方を御覧ください。まず、データの方で、こどもの数っていうのはやはり減っておりまして、出生数も減少傾向にあります。今年度は、もうちょっと増えてくるかなと思ったんですけど、12月末時点で50人くらいで、それでいくと、令和6年度の出生数は70満たないくらいになるかなと思っています。またちょっと減ってしまったという感じにはなるんですけど、久御山町の傾向として、これは以前からですけども、3つ目の丸のところで、18歳未満のこどもがいるひとり親(母子)世帯の割合が、全国や京都府に比べて高い傾向にあります。障害のあるこども等の数というのは、数字的には横ばいなんですけど、こどもの数は減っているんで、割合的には増加傾向ということになっておりまして、外国籍の20歳未満のこどもというのが、約2倍ほど増加しているということになっております。特に、コロナが終わってから、0歳から4歳ぐらいの小さいお子さんの数が増えてきたかなということで見てます。続いて、アンケート回答結果から見る現状と傾向のまとめです。働いているお母さんが増えているなという状況が見えたということと、3つ目の丸ですけども、子育てをお父さんとお母さん共に行っているという家庭が増加傾向にありました。こどものことで日ごろ悩みや不安を抱えている人は9割以上ということで、これはどんな保護者の方も悩みや不安はあるのかなと思っています。そして、一番下の丸で、良いことなんですけど、子育てを「とても楽しい」あるいは「楽しい」と答えた人の割合は増えてきているということで、嬉しいことだなというふうに思っております。53ページの上のところですけども、近所付き合いなんですけど、近所と親しい付き合いがあるという家庭が減ってきているということが分かっております。その下の3つのところが、生活実態調査といって、今回から初めてさせていただいた調査になります。保護者の方に自分のご家庭の収入を聞いているんですけど、その収入が全国的な平均値の半分以下になっている家庭を低所得層というふうにして、それ以外を低所得層以外としております。本町の低所得層は全体の1割程度。その1割程度の中の5割程度が、ひとり親家庭ということになっております。こどもの希望進学先も、こどもの方にも聞いているんですけども、低所得層の保護者とお子さんは、低所得層以外の方よりも大学への進学希望は低いかなという結果が出ております。あと、ヤングケアラーの方なんですけど、これはもう少し調査が必要かなというところなんですけど、こどもとしてはお手伝いしているよ、お手

伝いの時間を減らしたいと思っているお子さんは、結構な人数おられたんですけれども、それがイコールヤングケアラーにあてはまるということではないのかなというふうに思っています。あと、若者からの意見聴取結果ということで、もう少したくさん的人数がとれたらよかったですけど、二十歳のつどいに来たお子さんに配らせていただいて、答えていただいた方が20人弱になります。町政モニターの方で、若い方の分をここに反映しています。子育てについて、二十歳のつどいの20人弱の約7割が、子育てを大変そうと思っているので、そのへんの意識が変わっていけば、お子さんを産もうかなという気持ちにもなるのかなと思います。これを基に求められるものを書いているんですけど、アンケート結果から、地域の繋がりが少なくなっているなどか、働く女性が増えてきているなどということが分かります。核家族化で周りに親戚がおられないという家庭が増えてきていますので、子育て家庭を支えるために、地域でこどもを育てる環境づくりが必要ということで、次の5年間で特にこどもまんなかの実現に向けた取組を実施し、子育てに優しい地域づくりや、多様なこどもの居場所づくりに努めるということで、重点的に取り組むこととしております。その成果指標として、地域の付き合いについて「親しい」「やや親しい」と回答した方の割合が上昇するということを目指しております。続いて54ページの求められるもの2つ目なんですけど、ひとり親家庭の割合が高く、ひとり親家庭の半数は低所得層ということになっております。すべてのこどもたちが心身ともに健全に成長するために、ライフステージごとに途切れるのではなく、継続した支援が必要かなということが分かりました。特に取り組むこととして、ライフステージによらず継続した支援ができるような仕組みづくりを、特に、こどもの貧困の解消に向けて取り組むこととしております。成果指標の方は、肯定感の関係で、「自分には将来の夢や目標がある」と回答するこどもの割合が上昇するということとしております。3つ目の求められるものですが、子育てを楽しいと思う方も増えてきてはいるんですけど、やはり悩みを抱える方は9割以上になっております。特に産前産後は悩みを抱えやすい時期で、孤立化しやすい時期でもありますので、重点的な関わりが必要かなということで、産前産後というライフステージでの支援を重点的に取り組むということとしております。ここで成果指標としては子育てが楽しいと感じている保護者の割合がそれぞれ上昇することとしております。だんだん増えてきてはいるんですけど、もっと増えたら良いかなというふうに思っております。続いて55ページの計画の基本理念です。この計画が第3期目の計画になるんですけど、今回、基本理念を変更しております。その理由としては、対象の年代が広がったということと、信貴町長の方が新しく「全国一番の子育て環境のまちづくり」をするとされていますので、そのこともあり基本理念を変更いたしました。「こどもまんなか みんなの声が響く くみやま」ということで、こどもまんなかとして集まって、みんなでワイワイ会話をするような久御山町になることをめざすということで、このような基本理念としております。続いて、具

体的な施策の体系等を書かせていただけてまして、まちづくりのこと、こども、若者、ライフステージによらない支援など、ライフステージごとの支援を書かせていただいております。重点とする事業についても印をつけさせていただいております。74 ページになるんですけど、以前お配りさせていただいた際に、豊田委員からもプレコンセプションケアみたいな御意見をいただきまして、子育て支援課の方でも、今、相談に乗っているケースで臨まない妊娠をされたお母さんたちが、子育てが大変というふうになっていたり、逆に不妊治療をしている方もいらっちゃって、若い時の身体づくりというのは大切だと思うんですけど、そのあたりがなかなか若い世代には伝わっていないかなということですので、これを新規ということに入れさせていただいております。これは、これからどういうふうに伝えていこうかなということ、検討していかないといけないんですけど、ある程度学校では伝えていただいていると思うんですけど、行政としても伝えることができたかなということで、書かせていただいております。92 ページまではこういう事業が書いてありまして、93 ページからが、「子ども・子育て支援事業計画」ということで、こども園や、子育て支援のサービスの一定の量の見込みを立てて、その受け皿が足りているのかなというところを、法的に確認をしないとイケないことになっているので、それを確認しているページとなっています。全体として、こども園は新しい施設は必要が無いということで、足りてますというふうに書かせていただいております。事業が 18 事業書かせていただいております。説明としては、簡単ですが以上になります。

○中務教育次長 今パブコメ中やね？

○佐野子育て支援課長 明日、委員会にかけて、明後日からということになります。

○中務教育次長 また、パブコメでいろいろと意見を聞く期間がありますので、何かありましたら子育て支援課までお願いしたいと思います。

○内田教育長 はい。さきほど田口委員が不登校の問題などをおっしゃっていたと思うんですけど、そのことも含めて、このこども計画の中で、寺井委員の奥さんがやっておられるような、こどもの居場所づくりのような、大きな枠組みの中で、こどもたちの困難をいかに減らしていくかというような取組にしていきたいと思います。

○田口委員 はい。

○内田教育長 はい。そうしましたら（6）教育に関する事務の点検及び評価について事務局より報告願います。

○高月学校教育課長補佐 はい。失礼します。教育に関する事務の点検及び評価についてということで、資料 No. 6 になります。36 ページ、37 ページ、38 ページについて説明させていただきます。教育委員会が評価及び点検をした政策評価に対して、外部委員の方々にその妥当性を評価いただくとともに、教育委員会が実施した事業の取組内容などに対して指導助言をいただきました。委員の方は、昨年度から引き続き京都府立大学の教授の瀧本委員。京都樹脂精工株式会社代表取締役の山下委員。元久御山町立小学校

長の南委員の3名をお願いいたしております。内容としましては、久御山学園推進事業について、就学前からの一貫した教育を行うことで、子どもたちの豊かな成長を支えていると評価いただいた反面、子どもたちの学校生活を楽しく充実させることが、学校生活等での負担感の軽減に繋がり、そのことが不登校の未然防止にもなると考えられるので、学校現場の状況を注視するよう指摘をいただきました。次に、学力向上についてです。独自施策を実施していて、図書の貸し出し冊数が伸びるなどの良い結果が表れていると評価いただきましたが、学力向上はすぐに成果が出るものではないので、人員の確保、体制の整備、研修の充実にさらに努めるよう助言をいただきました。その次に教育相談事業についてです。複雑多様化する相談に対応すべく、相談員などの専門的職種の配置を今後も継続することが、教職員の負担の軽減に繋がるということを助言いただきました。その次に、学校施設の整備についてです。長寿命化計画に基づいた改修計画を進めていくとともに、子どもたちが快適に学校生活を送れるよう、トイレの洋式化と体育館の空調設置について早く進めることを期待されています。その次に社会教育事業についてです。限られた状況の中で、各種事業において工夫して実施をされていたことが評価されています。随所に高齢化が進んでおり、担い手の継承、不足が懸念されるというところと、コロナ禍で希薄となった人と人との繋がりを取り戻しながら、次世代の担い手を育成していく必要があると助言をいただきました。次に生涯学習の推進では、興味や価値観が多様化し、個々人の繋がりが薄れる中、人と触れ合い、学ぶ場を提供し支援できていることに高く評価をいただきました。今後も工夫を重ねて継続してもらいたいとの意見をいただきました。次に学校教育、社会教育ともに行っている子育て支援の充実に関しましては、物価が著しく高騰している中であって、経済的な負担の軽減策はとても大切な政策であるため、今後も継続して事業を行うことができるよう、確実な予算確保に努めていただきたい。今後も事業目的の達成に向けた一層の成果を得られるよう、取組の検証を行いながら、住民福祉の向上や、住民の視点に立った観点で、点検及び評価を行い、質の高い教育の充実、発展に努めていただきたいとの指導及び助言をいただきました。以上です。

○中務教育次長 外部委員からの指導及び助言を説明させていただきましたけれども、何か御質問ございませんでしょうか？

○委員全員 はい。

○中務教育次長 助言をいただいて終わりではなくて、これを踏まえて来年度以降どのようにしていくのか、予算をかけずにできるものもありますし、予算を要求していかないとだめな部分もありますけれども、どのようなことができるのかというような協議の方は、させていただきたいというふうに思っています。

○内田教育長 いろんなことを評価していただいているんですけども、当たり前が当たり前になってきたというような捉え方になってはいけないので、教育委員会として子

どもたちを良くするために、こんなことをやってこんな伸びがありましたよ、というような結果を発信していきたいなと思っています。

○豊田委員 先生方が学習の指導に専念できるよう、多様化するような相談対応をできるように、スクールカウンセラーとソーシャルワーカーを配置するという事なんですけどね。やっぱり日本の学校と、日本以外の国の学校とを比べたときに、大学の教授のように本当に学校というのは勉強を教えてくれるところということに特化しているのが日本以外のところで、日本ってやっぱり一緒に給食配って、あの短い時間の中で給食を配膳してみんなが食べて、片付けるとかね。どうやって教えたらあんなことができるようになるのっていうところが、日本らしい学校の良さでもあるので、そのあたりを損なわずに先生方が授業に集中できるようにしようと思ったら、何かそのカウンセラーの方だけが、1校1人とか、2人とか。そこのあたりをバックアップできるような、何か独自の工夫とかがあれば良いのかなと思うんですけども。それが子育て支援なんですよけどね。

○内田教育長 府に比べたら、SSWさんもSCさんも拡充して町で入れていただきますので、非常に利用率が高いというふうに答えるんですけど、豊田委員がおっしゃった日本の昔からの教育の良さをというのをすべて丸抱えというようなね。それは令和の日本型教育でも進めるべしというふうになっておりますので、ただ、例えばICTを使ったり、いろんなことをして業務の軽減とかいうような形でさせていただきたいなと思っております。やはりゆとりが無いと、想像力の無い対応になってしまいますので。

○豊田委員 そうですね。

○内田教育長 そのあたりを考えますと、これもまた皆さんにお伝えしないといけないんですけど、帰宅時間が非常に短くなっています。残業はあるんですけども、それが短く顕著になってきていますので、そのあたりは、やはりいろいろ環境を整えているという意味で、働き方が少し改正されているという状況でありますので、両面から先生方にゆとりをというふうに今後もしていきたいと思っております。よろしいでしょうか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 そうしましたら、次に仲よし学級の今後の運営方針についてお願いします。

○星野生涯学習応援課長 はい。失礼します。資料No. 7でございます。前回11月25日の定例会で、報告書についての御説明はさせていただいたんですけども、その内容を踏まえまして検討を行いました結果、この資料の通りとなります。1今後の運営方針でございますが、(1)主眼とした点といたしましては、指導員不足の解消による安定的な運営。それから研修の充実等による継続的な保育の質の向上。そして利用者への更なるサービス向上、安全・安心の確保。この3点としたいというふうに思います。(2)の事業内容の比較によりまして、(3)の現行の施設で民間委託による運営に向けて準

備を進めてまいりたいというふうに思っております。(2)の内容につきましては、もう1枚の参考資料を御覧ください。(2)事業内容の比較としまして、直営に対して民間委託ではこうしていこうというところで上げさせていただいております。まず1つ目の指導員数につきましては、現在なかなか理想的な人員が配置できていないという状況があります。これを解消できるという点であります。それから2つ目の開設時間につきましては、長期休業中の開始時間に関する要望が、もう少し早い時間から預かっていただきたいというような声がありますので、8時から受けるというものを、7時半からというふうな形で改善できたらなというふうに思っております。3つ目の閉級日につきましても、年始の開始を、これまでは1月4日から行っていたんですが、4日からお仕事というところもありますので、1月3日からということ考えています。4つ目の指導の質につきましては、研修の充実や適切な人員管理、人材育成により向上を図っていきたいと思います。5つ目の保育内容につきましては、民間の経験を生かした17プログラムの実施を期待できるというふうに考えております。6つ目のICTの導入につきましては、保護者との連絡を電話等で行っていたものを、学級のタブレットや保護者のスマートフォンを介して実施することで、利用の効率化と利便性の向上に繋がると考えています。7つ目の現場管理事務につきましては、これまで町職員が行っていた採用事務やシフト調整などについて、委託業者が行うことで、担当職員の事務負担が軽減し、他の業務に当たることができると考えています。1枚目の資料に戻っていただきまして、委託時期でございますが、令和8年の4月からを想定しております。令和7年度中に業者の選定及び周知、説明、移行に係る準備を行いたいというふうに思っています。(5)使用料につきましては、民間委託への移行のタイミングでは据え置きとさせていただきたいというふうに考えております。ただしこれは民間委託しようがしまいがなんですが、ここ数年で、非常に人件費等で実施のコストが上がっておりまして、3年後をめどに使用料の見直しというのは検討しています。2 予算措置です。令和7年度当初予算に、3年間予定の債務負担行為の設定をさせていただきたいと思います。令和7年度中に準備を進めまして、8年度の当初予算の方に、委託料の方を改めて計上させていただきたいと思います。3は今後の予定となります。ちょっと細かい資料になりますけれども、また教育委員会の定例会の方でも、今現在の予定はこうなっておりますけれども、この時期の前後であるとか、内容なども少し変動があるかもしれませんが、適切なタイミングで、逐次報告をさせていただきたいと思います。以上説明とさせていただきます。

○内田教育長 はい。説明が終わりました。何か御質問ございませんでしょうか？

○委員全員 はい。

○中務教育次長 先ほどの外部評価の助言の中にもですね。最終ページの38ページの上段に、仲よし学級のこと書いてありまして、指導員の人手不足や高齢化が深刻化する中で、民間委託を視野に入れながら、この検討委員会の意見も参考に、慎重に検討を

行っていただきたいと考えますというような助言をいただいております。このあたりも受けまして、慎重に協議を検討した結果ですね。1年かけて、委託に向けて移行していくというような結論を出したというところがございますので、よろしく願いいたしたいと思います。

○内田教育長 はい。そうしましたら最後に、町制施行70周年記念第35回くみやまマラソンの申込み状況についてお願いいたします。

○星野生涯学習応援課長 はい。失礼いたします。資料No.8でございます。マラソンの概要につきましては、以前の定例会で御説明させていただきましたが、申し込み状況はこのようになりました。500人を目指しておりました定員につきましては、512人ということで、無事定員を超えまして、この形でマラソン大会を行っていきたいと思います。2月11日の祝日になります。河川敷をスタートしてスタートゴールに帰ってきます。今回変わった点は、公道でのレースというのは今回は設定はいたしませんでした。河川敷で終始するというような形となります。このように実施するのは初めてですので、今回この形でさせていただきまして、無事にできるということを確認した上でですね。来年以降またさらに良いものにしていきたいなというふうに考えております。

○中務教育次長 今回、河川敷のスタートゴールにさせてもらったのは、隣で工事もやっています。それと中央公園がですね。改修の工事に入ってしまうので、そのへんの駐車場の関係なんかも踏まえて、第35回になるんですけども、新たな第1回のくみやまマラソンというような形でですね。まずは実施をさせていただいて、先ほど課長も言いました通り、改善を加えながら継続をしていけたらなと思います。

○内田教育長 はい。何か御質問等はありませんでしょうか？

○委員全員 はい。

○内田教育長 それでは以上をもちまして、令和7年第1回久御山町教育委員会定例会を終了させていただきます。ありがとうございました。

午前11時15分 終了